

1. GAP とは何か？

本県の農業は、地理的条件や気候条件等に加え、農業者の技術力、経営力に支えられ、首都圏への食糧供給基地として発展してきました。

一方、生産性向上を重視した農業に取り組んできた結果、以下のような問題が発生しています。

農業生産現場における諸問題

- 農薬の不適正使用、燃料油等の流出による河川等の汚染、農業生産活動に伴う廃棄物の不適切処理（不法投棄、野焼き）
- 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染（県内 53 地区 H23.3 現在）
- 農作業事故死亡者 72 名（H12～H21） 負傷者数は不明（調査無し）

これらの問題が起きたのはなぜでしょうか？法律や指針は守られてきたのでしょうか？

今後、様々な問題を解決しつつ、消費者の求める「安全・安心な農産物を供給」するため、「環境に優しい農業」を「農業者が安全」に続けていくためには、どうしたら良いのでしょうか？

また、農業生産現場において農業者が遵守、または従うべき法律や指針が多数あります。

農業従事者として遵守、または従うべき規範

日本の法律：食料・農業・農村基本法、食品安全基本法、食品衛生法、農薬取締法、環境基本法、労働安全衛生法 等

行政指針等：農薬の飛散低減対策、農作業安全のための指針、施肥基準 等

世界の基準・法律：コーデックス基準 海外の食品衛生法 等

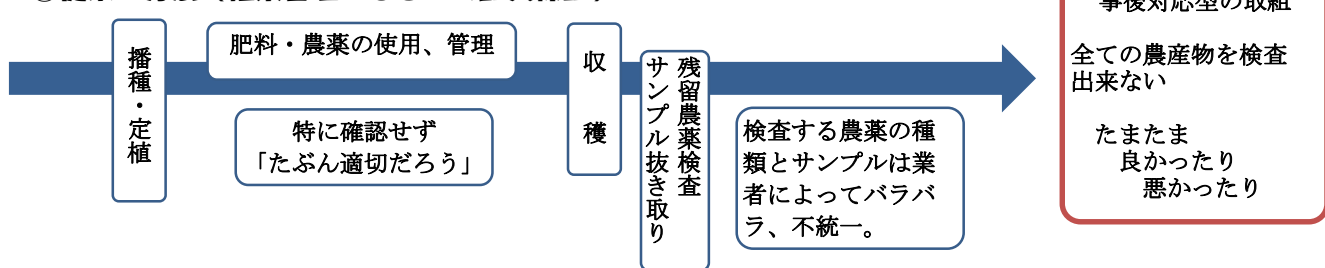
時代の要請や良識として従う事が望ましい規範：

環境保全型農業推進憲章、野生動植物の保護、消費者の生産現場への期待、企業や取引先の理念など

これらを具体的な作業の話に落とし込んだものが **GAP** です。

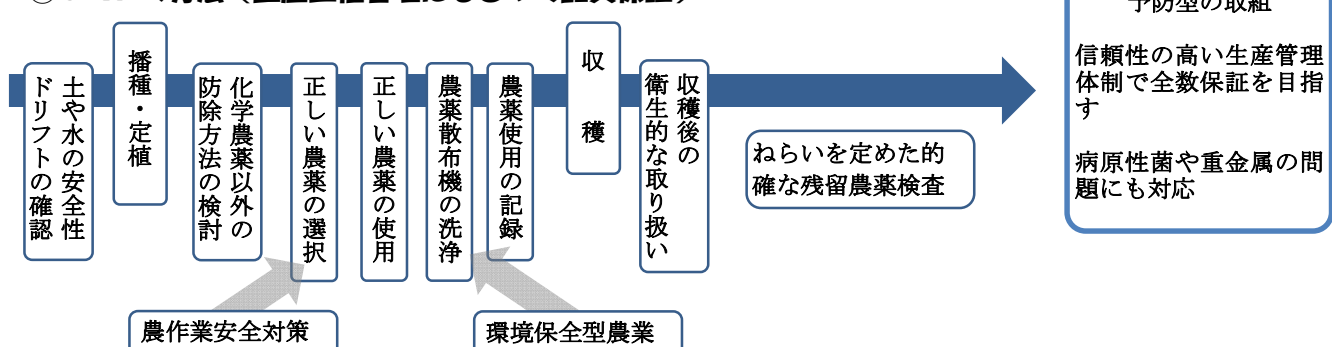
2. 今までと何が違う？

①従来する方法（結果管理にもとづく品質保証）



農作業安全対策や環境保全は必要に応じて…？

②GAPの方法（生産工程管理にもとづく品質保証）



農作業安全対策や環境保全型農業も工程管理に含めることで、環境や農業者の安全確保も狙う

3. GAP のメリット 農業者へのメリット

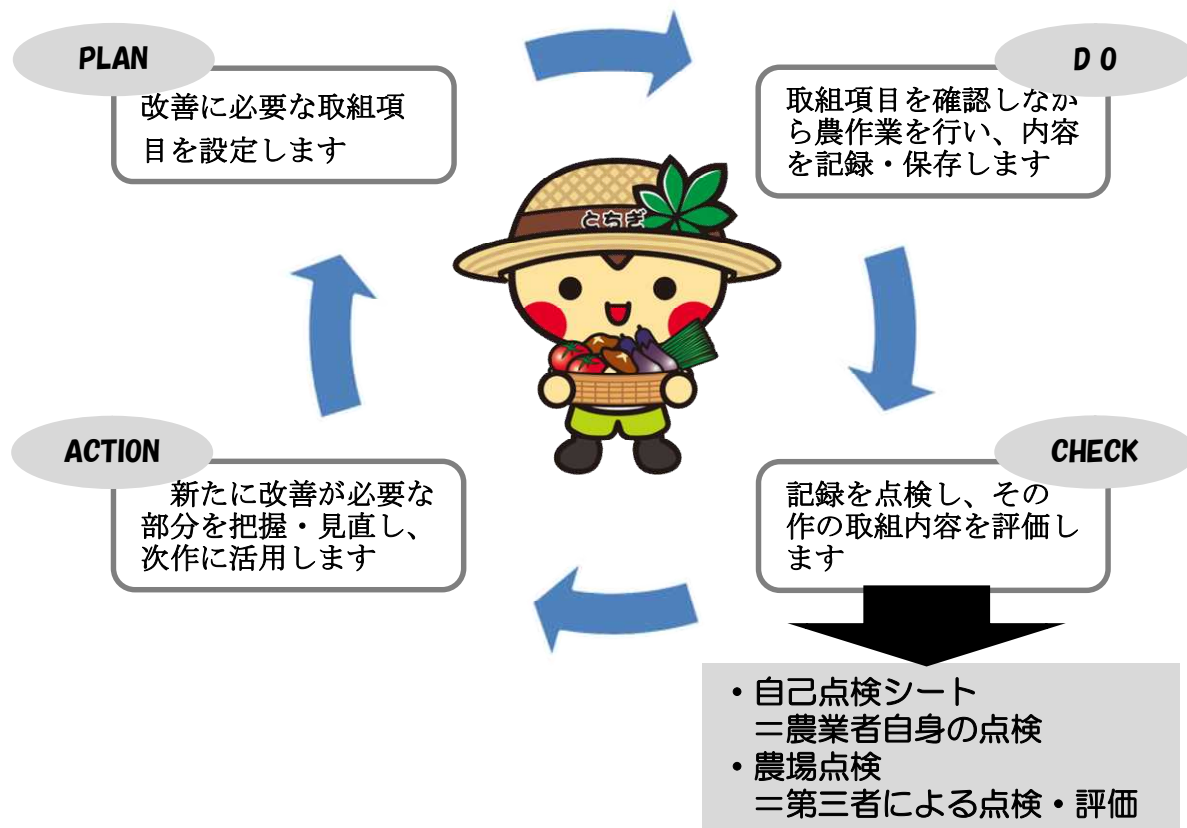
- 適切な農場管理が実現し、①食の安全、②環境保全、③労働安全が向上します。
- 農場の仕事が効率化し、経営改善・品質が向上し、技術の継承にも役立ちます。
- 専門の審査機関の審査・認証を受けることで、実需者に「信頼できる農場」であることを客観的に判断、アピールできます。

バイヤー（・消費者）へのメリット

- 一定の安全性が確保された農産物の調達が可能になり、仕入先の評価・選別・管理に活用できます。
- 農産物の安全等に関する確認を独自に行う必要がなくなり、効率的な調達業務ができます。
- 品質基準（味や外観）、栽培基準は自由に設定可能なので差別化された商品の調達とも両立できます。

4. GAP を実践してみる

GAP 規範に掲載されている取組項目は、すでに皆さんが実践されていることです。
今よりもっと良い農業にするために、PDCAサイクルという手法で取り組んでいきます。



5. 自己点検シートと農場点検

現在取り組んでいる「自己点検シート」は**GAP**の第一歩に過ぎません。
自己点検シートにより見つかった問題点を自ら改善し、さらに第三者による農場点検により農業者自身が見落としていた問題点を明らかにし、改善していく…これが**GAP**です。

Good Agricultural Practice
= より良い農業の実践 に取り組み、
農業経営の向上を図りましょう！

